

三條保育所 春の子どもの姿

新しいクラス、新しい棟に移行した4月。新しい環境や友だち、先生に少しドキドキしていた子どもたちですが、少しずつ保育所での生活にも慣れてきました。三条保育所で子ども達が日々どのような活動をしているのか、とある1日をご紹介します。

幼児 そらまめ物語



昨年度に植えたそら豆の苗が、子どもたちの背丈よりも大きくなり、さやもふくふくと大きく成長しました。子どもたちは「もうちょっとでしゅうかくできるかな?」「はっぱのかげにめっちゃおおきいのがあった」と興味津々です。「収穫しようか」と子どもたちに伝え、順番にはさみを持ち、自分が大きいと思うさやを切っていきます。そしてさやから豆を取り出すのですが、子どもも大人もびっくり。さやが立派でも中の豆が大きいわけでは無かったのです。大きいさやでも中身がスカスカで小さいそら豆しか入っていないものもあれば、小さいさやに、とっても大きい一粒のそら豆が入っているものもありました。

「ちいさい あかちゃんまめが はいっていたね」

「じゃあ、これはおとうさんまめかな？」

子どもたちの可愛い呟きがありました。

また、さやの中がふわふわしていることに気が付き、

『そらめくんのベッド』といっしょや」と絵本との共通点を見つけたり、ふわふわした部分が少し濡れていることに気が付いて

「あつし あせをかいているのかもしれない」と呟いていました。



みんなで収穫したそら豆を調理場に持っていき、その日は【茹でそら豆】に、別の日には【フライドそら豆】にしてもらって、おやつ時間に食べました。

食べてみた子どもたちは「ふしぎなおいがする」「そらまめのかわがぶあつくてたべにくい」「かわをむいたらおいしいかも…？」と少し独特な味と香りがするそら豆に戸惑う姿がありました。あまり家庭では食べる機会のない野菜で、初めて食べる子どもも多かったと思います。「おいしい」という子どもは少数派でしたが自分達で育てたそら豆を収穫し、分厚いさやから豆を取り出すことや、豆の匂いや感覚など様々な体験ができたと思います。

次は、秋の収穫を目標に、さつまいもの苗を植えています。子どもたちの食育に繋がるよう、その他の野菜の苗植えも計画中です。



乳児 だんごおしさん みーつけた

私たち大人はだんごむしは鉢や葉っぱの下にいて、こんなコンクリートの隙間にいるとは思っていませんでしたが、たくさんいたのです。子どもたちは「こっちにもいたよ」と指をさしながら特等席で嬉しそうに観察をしていました。子どもの発見や気づきに大人も気付かされたり、学んだりしています。

